

事業所名

児童デイサービス ひまわり

支援プログラム

作成日

2025年

1月

6日

法人（事業所）理念		誰もがありのままにその人らしく地域で暮らす。						
支援方針		「生きる力を育てよう」を目標にして1人1人に必要な支援活動を行います。						
営業時間		9時	0分から	19時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	来所後の身支度や手洗いなどの流れを確認しながら行い、自然に日常生活動作の習得ができるようにしています。またイベントでの調理活動ではエプロンや三角巾、手袋を着用することで衛生管理が学べるようにしています。おやつ提供では自己決定ができるようカゴのなかから好きなお菓子を選べる活動週間も取り入れています。						
	運動・感覚	季節によって水遊びや公園遊びを取り入れています。室内では集団遊びとして体を使ったゲーム遊びを提供し体幹やバランスを感じることができるようにしています。						
	認知・行動	簡単調理という活動の中で電子レンジや電気ポット等身近な機械の使い方、制作のなかでハサミなどの器具やボンドなどの適量を学んでいけるよう支援しています。また視覚優位なお子さんにはスケジュール表を提示することで見通しを持たせて行動できるよう支援しています。						
	言語 コミュニケーション	帰りの会での絵本の読み聞かせにより文字や言葉に触れたり、高学年では自分の考えを発表する機会を設けたりしています。異性間での距離の取り方もお子さんに応じた伝え方をすることで少しずつ習得できるようにしています。						
	人間関係 社会性	お子さん同士のトラブルには職員が仲介し双方の思いに寄り添い解決策を考えています。異年齢のお子さん同士が同じ空間にいることで行動の手本になったり面倒をみることで円滑な人間関係が築けるような助言や見守りをしています。高学年には活動内で責任を持たせる役割を担ってもらい社会性を学んでいけるようにしています。						
家族支援		送迎時に学校からの引継ぎやその日の様子を伝える事をしたり、困ったことや相談したい事があればいつでも面談できる体制を整えています。			移行支援		思春期、進学、卒業後の進路などそれぞれのライフステージに応じた支援を行います。	
地域支援・地域連携		公園遊びやイベントでの外出など地域に出る機会を設けています。また困ったことが起きた場合は相談支援事業所や学校と連携をとり対応を検討しています			職員の質の向上		事業所内研修や法人研修、外部研修を取り入れ職員の知識向上を図っています。	
主な行事等		日々の活動の中に季節感を持たせた遊び、制作やおやつ作りを取り入れ、土曜イベントでは外出（博物館や遊覧船など）、外食などを取り入れ地域や社会との繋がりを図っています。						